

# 令和3年度 学生FD CHAmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【工学部】

## 1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年3月8日	CHAmiT参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、工学部FD委員会委員長、FD委員会副委員長、教務課の計10名がZoomを利用したオンライン形式にて1時間30分程度、学部提案書について意見交換を行い、回答内容を共有しました。

## 2 学部提案書の対応について

### ① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
・授業及び課題形式の統一化			○	令和4年度は、令和3年度より対面授業を増やしながらも、教室収容等の関係でポータルサイトやgoogleサービス、またZoom等それぞれのメリットを活用しながらオンライン授業を実施する予定のため、授業及び課題形式の統一は難しいです。なお、令和4年度後学期からポータルサイトのバージョンアップを予定しており、授業や課題の提出状況等の進捗管理が分かりやすくなりますので、より学生目線に立った学修の実現に向け計画を進めております。
・出席確認の統一化			○	対面授業とオンライン授業それぞれの出席状況の即時反映の問題、またオンライン授業においては確認テスト等の教育効果に配慮した確認方法としており、統一は難しいと考えております。
・課題提出先の統一			○	ポータルサイト、googleサービス、Zoom等を使用しそれぞれのメリットを活用しながら授業を展開し、課題提出も教育効果に配慮した提出先となっており提出先の統一は難しいですが、令和4年度後学期からポータルサイトのバージョンアップを予定しており、授業や課題等の提出状況等の進捗管理が分かりやすくなりますので、使いやすい運用となるよう検討いたします。
・面接授業を録画して配信		○		撮影方法、機材、撮影者の選定等の課題がありますが、一部の授業で、対面授業に出席できない学生向けに別途撮影した録画を配信しております。
・学生同士の交流の場の不足解消	○			令和4年度は令和3年度よりも対面授業を増やす方針としており、また、学食においてもフロア全席に飛沫防止パネルを設置し、また図書館の自習スペース等、感染防止対策を講じながら、キャンパス内で学生が交流できる機会を増やしておりますのでご活用ください。

### ② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
現在の本館以外にもカードリーダー（入構記録）を取付けて欲しい			○	カードリーダーを本館1か所している理由は、発熱者が入構した場合、同じ本館にある保健室の看護師による問診等の対応が必要となるためであり、70号館にも設置すると迅速な対応が難しくなることから、学生さんには不便をおかけしますが、現状どおり一元管理での入構記録をお願いいたします。
出席について寛容して欲しい（就活が理由の場合は欠席になってしまうため、根拠資料として企業等からのメール等を提示することで、公欠扱いにできないか）		○		前提として、公欠という取扱いは元々無く、就職活動に伴う授業の欠席について、基本的には各教員の判断に委ねておりますが、学務委員会等で検討し令和4年度中には回答できるよう努めます。
対面授業とオンライン授業の併用制にできないか	○			令和4年度の授業につきましては、方針として対面授業を中心といたしますが、感染状況や教室の収容人数等との関係で、適切にオンライン授業を組み合わせるなど、教育効果と状況に応じて授業を展開して参ります。
学生がオンライン授業に慣れてしまい、対面授業の試験に不慣れになっているのではないかと不安を感じる。	○			令和4年度の授業につきましては、対面授業を中心としてオンライン授業を組み合わせ参りますが、オンライン授業につきましても科目により授業内試験等を対面実施とするなど、公平性や教育効果に鑑み実施して参ります。
同じ時間帯（時間割上）に複数科目を履修することはできないか			○	対面授業とオンライン授業を併用している現状では物理的には可能ですが、過度な履修単位数になることは学修効果上好ましいとは言えず、また、今後対面授業に戻った時には不可能となり時間割上の公平性を欠くことから、認めることはできません。

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
課題提出が完了しているか分かりやすく表示して欲しい		○		googleサービスやZoom等それぞれのメリットを活用しながら授業展開しており、サービス利用の都合上カスタマイズが出来ないため現状どおりの運用となりますが、令和4年後学期からポータルサイトのバージョンアップを予定しておりポータルサイト内限定ではありませんが、提出課題が把握しやすく、未提出の課題がアラート表示されるなど、課題提出状況を含め学修における進捗管理が把握しやすくなる予定です。
オンライン授業での、学生同士による課題やテストでの不正防止対策を講じて欲しい	○			オンライン授業では、受講している学生さんの状況や環境が把握しづらいため、教員の工夫により課題や試験については学生それぞれ問題の値を変えたり、また時間を厳格にし即時に提出を求めるなど、対策を講じ公平性の確保に努めております。
授業形態（対面、オンライン）について、それぞれのメリット・デメリットを踏まえてどちらにするか、または併用にするか検討してほしい	○			本学部は通学課程ですので、対面授業を行う大学です。コロナ禍のためオンライン授業を併用しておりますが、感染状況や感染対策を考慮し、それぞれの良さを取入れながら授業を展開していく他ないと考えております。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 工学部から学生へのメッセージ

コロナ禍2年目を終え、未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染ですが、皆さんは、行動の制限や慣れないオンライン授業等で不安な日々を過ごして来られたことと思います。一方、教員はオンライン授業2年目を終え、対面授業を少しずつ増やしながらもオンライン対応も行い、アップデートしながら授業改善を続けております。

今回、ご提案いただいた点につきましては対応済や検討を行うものもありますが、令和4年度につきましては、まだ続くであろう対面授業及びオンライン授業それぞれのメリットを生かしながら、コロナ終息後の授業形態も含めてFD活動を通じ、学生の皆さんの意見を取り入れながら、より学修効果が上がる授業手法、形態を探っていきたくと考えております。

変化の激しい時代で制約の多い生活が続きますが、この状況の中で皆さんが日本大学工学部で学修した貴重な経験が必ず将来活かされると考えておりますので、一日一日を大切に励まれることを期待しております。学生教職員一丸となって乗り越えていきましょう。